

## 福祉施設の希望する寄附の状況

平成 30 年度 東京善意銀行 物品・寄附等希望アンケート 集約結果

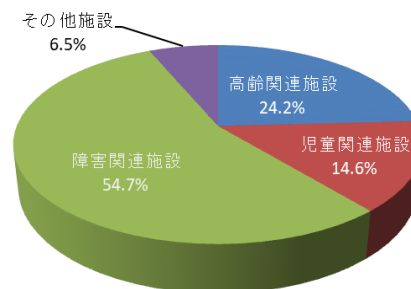
## 東京善意銀行の取り組み

- ▶東京善意銀行は、昭和 39 年(財団法人 東京善意協会として設立)から都民・企業・団体の皆さまからの「福祉の役にたちたい」とのお気持ちを、東京都内の福祉施設とその利用者に届ける橋渡しの役を務めています。昭和 45 年に財団法人 東京善意銀行と改称、平成 17 年に社会福祉法人 東京都社会福祉協議会(東社協)に事業を移管し、事業を継続しています。
- ▶都民・企業・団体の皆さまからいただいた寄附(現金・物品・招待)を、適正・公平に、また、福祉施設の希望にできるだけ沿えるよう、東京善意銀行では、毎年、福祉施設の希望する寄附等の現況把握と、必要としている物品等の把握のためのアンケートを行っています。また、寄附配分(助成)を、より効果的できめ細かく対応できるよう福祉施設へのヒアリング調査も実施しています。

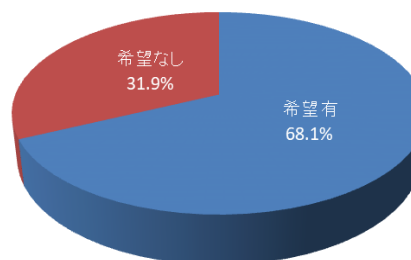
## 30 年度の配分(助成)対象施設の状況・助成金配分の希望状況

- ▶配分(助成)対象の福祉施設は、全体で約 2,400 施設です。その施設種別内訳は、障害関連施設が 54.7%、高齢関連施設が 24.2%、児童関連施設が 14.6%です。
- ▶善意銀行への現金による寄附は、福祉施設での必要な物品の購入費用として、善意銀行から助成金として配分していますが、全体の約 7 割(68.1%)がこの助成を希望しています。
- ▶助成金配分を希望する施設を種別で見ると、高齢関連施設では 76%、児童関連施設は 74.5%、障害関連施設では 63.9%の施設で希望があります。

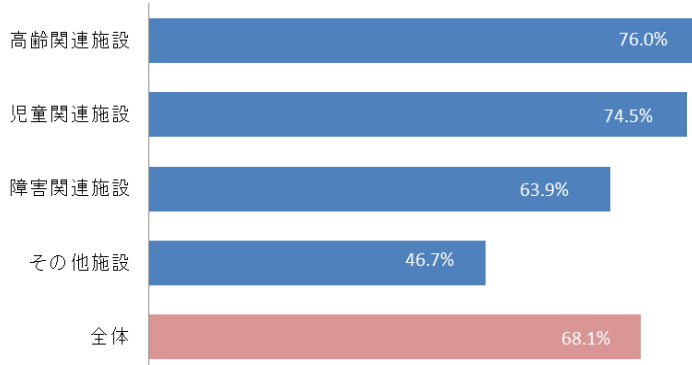
配分対象施設の内訳(平成30年度)



助成金配分の希望(平成30年度)



施設種別ごとの助成配分希望(回答施設のうち)



▶福祉施設の希望品は施設種別に関わらず、パソコンや洗濯機等の家電製品の希望が多くあります。防災用品も施設種別にかかわらず需要があります。施設種別ごとの希望品の主な内容は右表のとおりです。

▶助成金の配分は、このアンケートの回答内容に基づき助成申請を募り、善意銀行の運営委員会で審査の上、助成決定を行っています(年3回程度)。

平成30年度は、これまでに2回の助成金配分をおこない、のべ79か所の福祉施設・団体に物品購入の助成金等として配分しました。

高齢関連施設	車いす(チルト式・リクライニング式)、介護ベッド、エアーマット、離床センサー等の介護用具や洗濯機、テレビ等の家電製品の希望が多い
児童関連施設	パソコン、遊具、白物家電、家具等の希望が多い。通所施設では知育玩具や絵本、スヌーズレン用品を希望
障害関連施設	パソコン、タブレット端末、プロジェクター等の希望が多い。その他、洗濯機や冷蔵庫等の家電製品、授産活動の品、ロッカーやソファ等の備品などを希望
その他の施設	テレビ、洗濯機等の家電製品等の希望が多い

## 物品・招待寄附の希望の状況

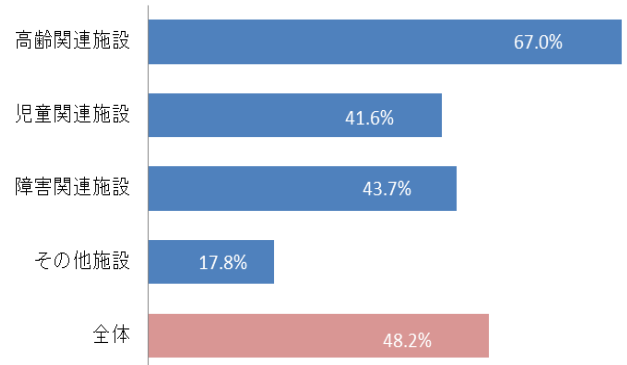
### 1 自動車の希望状況

▶寄附配分を希望する福祉施設(回答施設)の約5割が自動車を希望しています。福祉施設の規模や事業内容によりませんが、高齢関連施設では約7割の施設が自動車を希望しています。

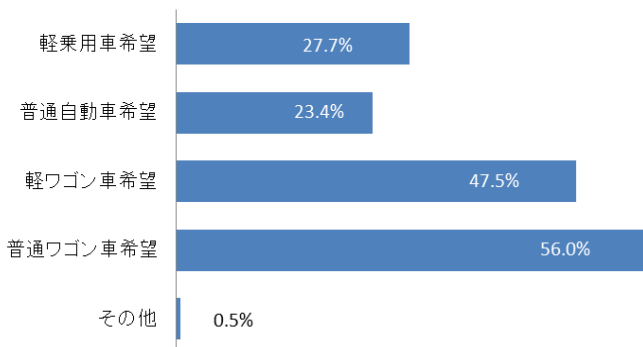
▶全体では普通自動車、軽自動車ともワゴンタイプの車種の希望が多くあります。

▶自動車を希望する福祉施設の52.7%は車椅子仕様の車希望しています。

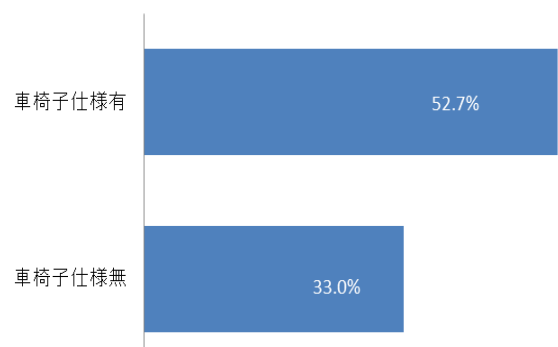
施設種別ごとの自動車希望(回答施設のうち)



車種別自動車の希望(複数回答)



車椅子仕様の希望(複数回答)

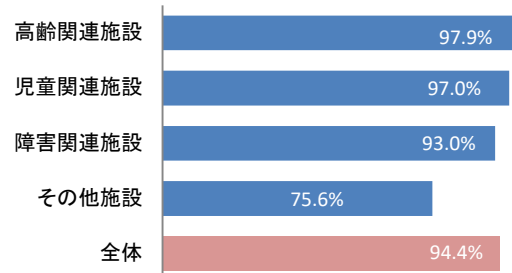


## 2 物品寄附の希望状況

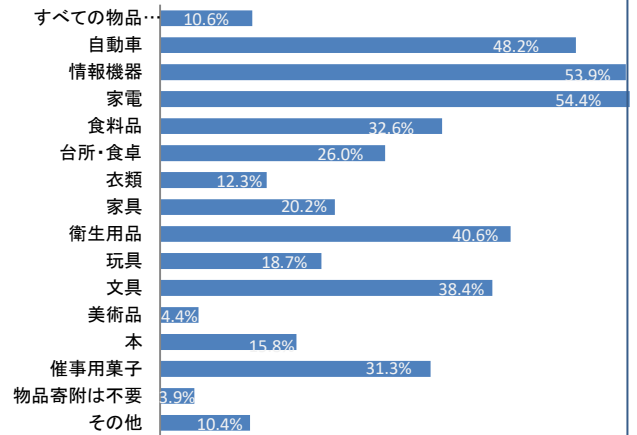
- ▶ 回答施設のうち、約9割の施設が物品寄附を希望しています。特に、児童関連施設や高齢関連施設では、97%とほとんどすべての施設で何らかの物品寄附を希望しています。
- ▶ 品目別では、家電製品、情報機器(パソコン等)、自動車、衛生用品、文具、食料品の順で希望が多くなっています。
- ▶ 高齢関連施設では、希望物品の上位は、自動車、家電製品、情報機器(パソコン等)、衛生用品で、車いすや介護用品の希望も多くあります。
- ▶ 児童関連施設の希望は、家電製品、玩具、文具の順となります。情報機器(パソコン等)や衛生用品の希望も多くあります。
- ▶ 障害関連施設では、授産活動等で用いるタブレット端末を含めた情報機器(パソコン等)が最も多く、家電製品、自動車、衛生用品の順となっています。
- ▶ 選択肢以外の物品希望として、種別を問わず、防災用品や自転車の希望がありました。

### <施設種別ごとの物品寄附品の希望(複数回答)>

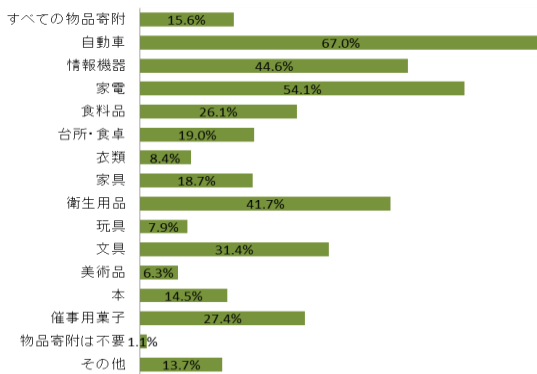
施設種別ごとの物品寄附希望(回答施設のうち)



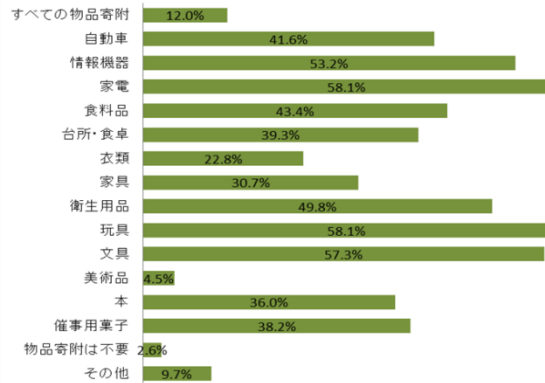
物品寄附品の希望(複数回答)



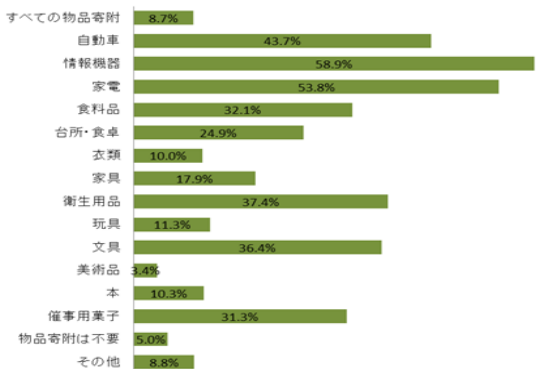
【高齢関連施設】物品寄附品の希望



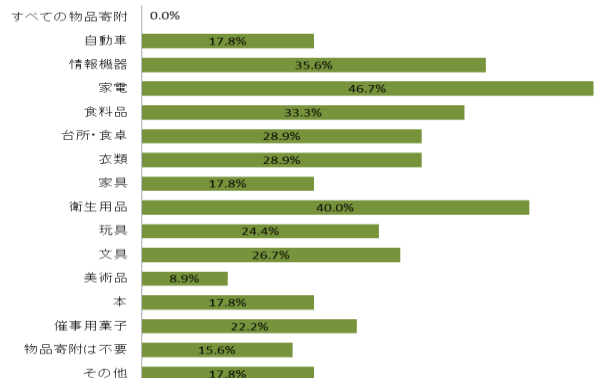
【児童関連施設】物品寄附品の希望



【障害関連施設】物品寄附の希望



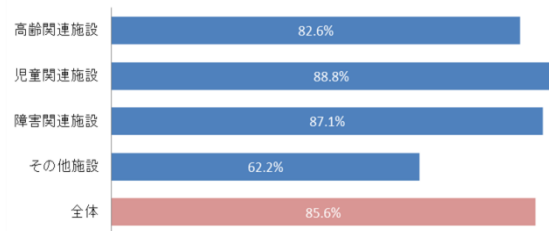
【その他施設】物品寄附の希望



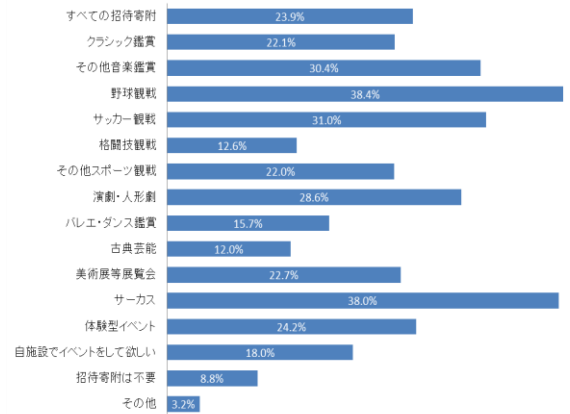
### 3 招待寄附の希望状況

- ▶全体で85%と、多くの施設で招待寄附の希望があります。施設種別では児童関連施設、障害関連施設からの希望が約9割と多くなっています。利用者の状況や、付添等の職員体制等によって、希望の多寡があります。
- ▶分野別では、全体では、野球・サッカー等のスポーツ観戦、サーカス鑑賞の希望が多く、音楽鑑賞や演劇鑑賞が続きます。
- ▶施設種別ごとの希望をみると、児童関連施設ではサーカスや体験型イベント、演劇・人形劇の人气が他の種別より高く、高齢関連施設では古典芸能鑑賞、自施設を訪問してのイベントへの希望が同様に他の種別より多くなっています。
- ▶選択肢以外に希望する招待として、水族館やテーマパーク、大相撲、映画鑑賞などが挙げられています。

施設種別ごとの招待寄附希望(回答施設のうち)

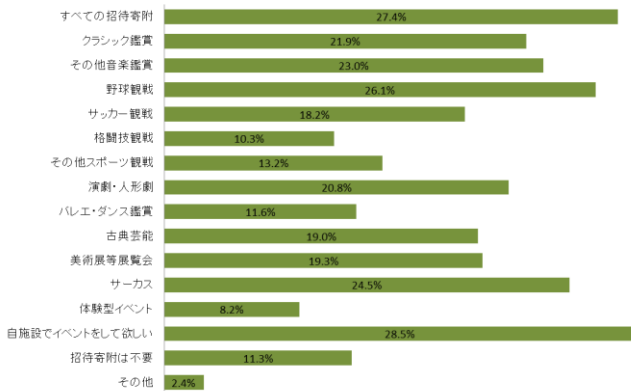


招待寄附の希望分野(複数回答)

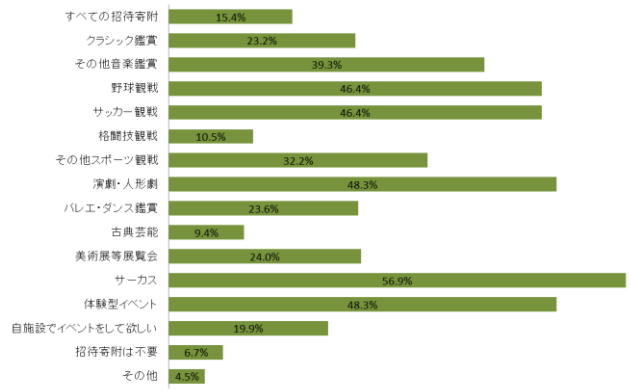


#### <施設種別ごとの招待寄附品の希望(複数回答)>

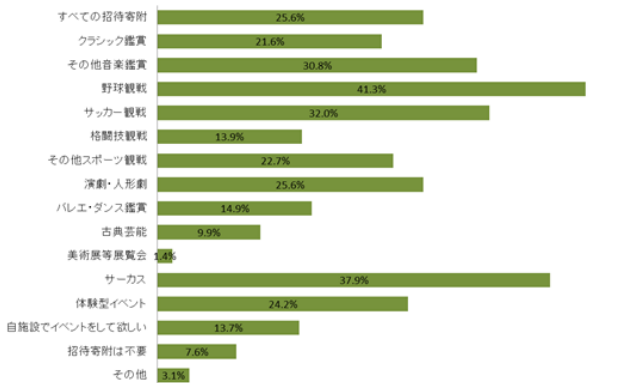
【高齢関連施設】招待寄附の希望



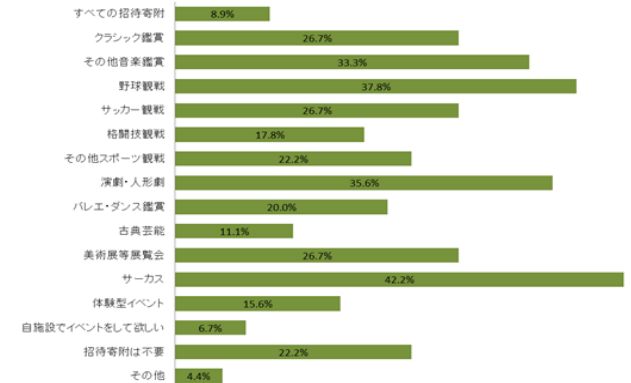
【児童関連施設】招待寄附の希望



【障害関連施設】招待寄附の希望

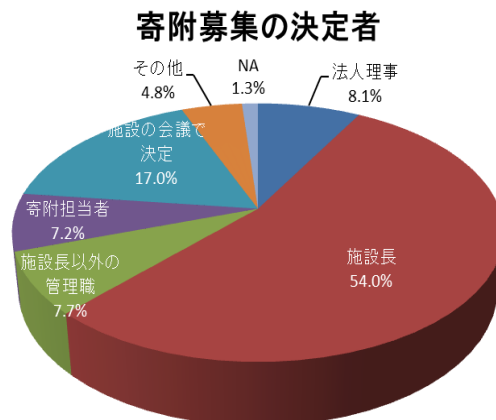


【その他施設】招待寄附の希望



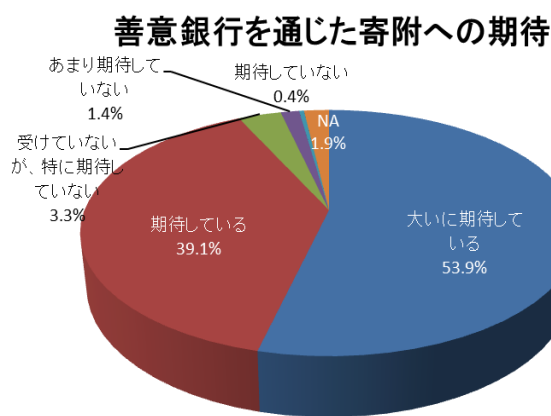
## 寄附の受入体制について

- ▶ 東京善意銀行から物品や招待などの寄附の案内があった場合、施設の中で「誰」が受入についての決定をするかきいたところ、「施設長」が決めると答えた施設が54%と最も多く、「会議で決定」17%、「法人理事」8%、「施設長以外の管理職」、「寄附担当者」と続きます。
- ▶ 「その他」と答えた施設の中には、「寄附の規模により決定者が異なる」や「利用者のミーティング」などの回答がありました。

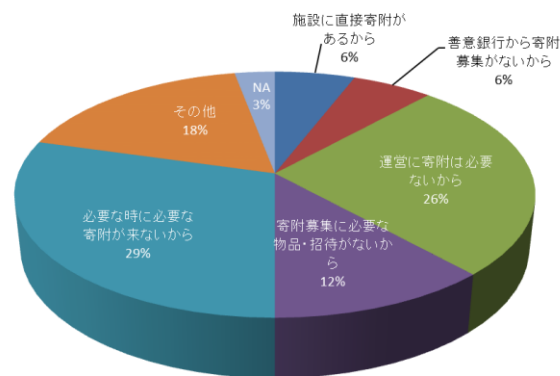


## 寄附募集への期待

- ▶ 東京善意銀行を通じた寄附募集に対する期待について尋ねたところ、「大いに期待している」「期待している」を合わせると93%となり、期待が非常に高いことがわかりました。
- ▶ 「あまり期待しない」「期待しない」と答えた34施設（1.8%）に理由を聞いたところ、「必要な時に寄附が来ないから」を選択した施設が10施設と一番多く、「自施設の運営に寄附は必要ないから」が9施設と、「善意銀行からの寄附に必要な物品・招待がないから」が4施設と続きました。
- ▶ 「あまり期待しない」「期待しない」理由として「その他」を選択した施設の回答を見ると、「必要性と手続きのバランス」「ありがたい活動だが、事業所も頼りすぎないようにしなくてはならない」などの回答がありました。



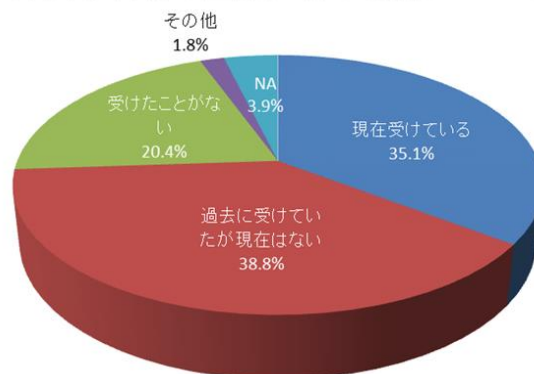
## 寄附を期待しない理由



## 身近な地域にある企業・団体からの寄附について

- ▶ これまで身近な地域にある企業・団体から、寄附を受けたことがあるか尋ねたところ、「現在受けている」と回答した施設は35%、「過去に受けていたが現在は無い」が38%、「受けたことがない」が20%となりました。

## 身近な地域の企業からの寄附について





## 東京善意銀行に期待すること（自由記述）

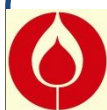
「東京善意銀行に期待すること」について尋ねたところ、回答施設の約半数の施設から、様々な意見や期待が寄せられました。

- ▶ 『こんな寄附や物品・招待が望ましい』といった現行の寄附内容に対する要望は多く寄せられ、現金寄附による助成については、「一回あたりの助成額を増額してほしい」「助成回数を増やして欲しい」「助成金を物品購入だけでなく、施設のイベントや外出行事、職員研修などに活用できるようにしてほしい」「施設の広報活動や人材確保のために活用できるとよい」などの意見が寄せられました。
- ▶ 物品寄附については「送迎のための福祉車両」「焼菓子の販売や配達のための事業用車両（就労支援施設）」など、車両に関する期待が数多く寄せられました。また、「防災のための備蓄品」や「お祭りの際に地域に還元するお菓子や小物」などの他、「施設の修繕工事」など、物品以外の寄附の希望もありました。
- ▶ 招待寄附については「利用者は勿論、職員やその家族も参加できるイベントやチケット配布などがもっとあると良い」、「日々苦勞している現場職員に対し、息抜きや家族サービスとなる様な、いろいろな招待（スポーツ観戦等々）が多く増える事を期待します」など、施設職員や家族が参加可能な招待への期待が多く寄せられました。また、「施設に来てくれる芸能（マジックや音楽演奏等）の寄附」や「送迎付きのイベント（生活介護施設）」など、移動の困難な方が参加できるイベントへの期待がありました。
- ▶ 寄附の募集・配分の方法や手続きに関する要望も寄せられました。「時代に沿った公平な寄附物品の配分」、「偏りなく配分されること」等の公平な配分を望む声や、「(受け取るための)手続きはできるだけ簡単だと嬉しい」「希望したものが早めに決まることを期待」など、簡単で迅速な手続きを望む声がありました。
- ▶ また、「多くの情報提供」、「ほかの施設での寄附の活用事例など」といった寄附や社会貢献に関する情報提供の充実を望む声や、「地元の企業・団体等に小規模の施設についての理解が広がれば」「障害を持ちながらも、一般企業で働きたい、社会と繋がりたいという思いを持った方はたくさんいます。そのような利用者の根本的なニーズと障害理解を深めて欲しい」といった現場への理解を深めるための企業への情報発信及びその支援を期待する声もありました。
- ▶ また、「お金や物の寄贈だけではなく、技術や情報などを用いて施設と繋がって関わってもらえるようにするための橋渡し役となってくれることを期待」「福祉団体と企業の団体共催のイベントを企画するなど、交流できる場の設定」など、寄附以外の企業との関りや連携を求める声も多くあり、そのための橋渡しの機能への期待があることが分かりました。

## 〈 事 業 実 績 〉

平成 30 年度実績 (12月末時点)	寄 附 受 入		配分か所数	備 考
現金寄附	650 件	15,895,431 円	79 施設	※物品購入の助成金等として配分
物品寄附	122 件	144,068 点	899 施設	
招待寄附	182 件	12,893 人	3,019 施設	

 東京善意銀行のウェブサイトにも、様々な資料を掲載しています。ぜひご覧ください。



社会福祉法人 東京都社会福祉協議会(福祉振興部)

**東京善意銀行**

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11 東京YWCA会館 3 階  
 Tel 03-5283-6890 Fax 03-5283-6997 E-mail zen-i@tcsw.tvac.or.jp  
<http://www.tcsw.tvac.or.jp/zengin>